

にこにこボールプールで遊ぼう

小千谷市立総合支援学校 小学部 関 泰子

<児童の実態>

友達と場を共有することはできる
同じ遊びを繰り返すことが好き



子ども同士が直接関わるのが難しい
ボール遊びの経験が少ない



<目指す姿>

ボールプールの遊びをとことん楽しむ
ボールプールでいろいろな遊びを見付ける、工夫する
教師や友達とたくさん関わって遊ぶ



みんなで楽しい遊
びを見つけよう!

<手立て>

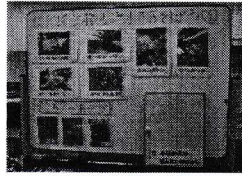
【視覚化①】

道具の置き場所・片付け場所を
文字と写真で提示する



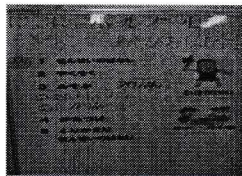
【視覚化②】

見つけた遊びに名前を付け、写
真と文字で常時掲示しておく



【焦点化】

学習の流れを一定にする。
毎時間の活動のめあてを一言で
提示する



【共有化①】

児童の遊び方を教師が言葉にし
て伝える



【共有化②】

振り返りで、楽しかった遊びを伝
え合う場を設定する



第1次(2時間)

- ボールプールでの遊びを楽しむ
- ・転がったり潜ったりして全身で感
触を楽しむ。



第2次(3時間)

- 遊びを広げる。
(設定遊び→自由遊び)
- ・前時の活動の写真を見て遊び方を思
い出す。
- ・「○○遊び」を教師や友達とやっ
てみる。
- ・好きな遊びを選んで自由に楽しむ。



<用いた道具>

かご ペットボトル筒 箱
板 とい ビート版的
スティック ラケット



第3次(1時間)

- 今までの遊びの中から好きなこと
を選んで楽しむ。

<成果と課題>

- 「視覚化・焦点化・共有化」の3つの観点から手立てを工夫することで、児童が主体的・発見的に活動する姿が見られた。
- 毎時間の流れを一定にしたことで、児童は見通しをもって活動に取り組んでいた。
- ▲児童にどんな力を付けたいのかをより明確にして「分かる・できる・動ける」授業を目指す。